

IBARAKI INTERNATIONAL FISHING FESTIVAL in Hitachinaka-Oarai Resort カジキ釣り国際大会を中心とする総合イベント について

大会概要

■主催 茨城インターナショナルフィッシングフェスティバル実行委員会

■日程 2025年8月29日(金)、30日(土)、31日(日)

■内容 ○カジキ釣り国際大会

(茨城県大洗マリーナを拠点とした茨城県沖)

○カジキ釣り国際大会を中心とする総合イベント

(大洗港区第4埠頭、那珂湊おさかな市場)



■国際大会としての発展を目指す!!

参加申込状況

49艇 (うち新規申込 7 艇) ※昨年の参加艇のうち修理等による不参加 (7 艇)

カジキ釣り大会では国内最大の賞金総額

昨年大会から100万円の増 (500万円⇒600万円)

世界的に有名なカジキ釣り大会の開催地であるメキシコとの関係構築
メキシコ大会への派遣チーム数を増 (1チーム→2チーム)

サポーター店制度の拡充

■地元の飲食店等がサポーターとなり大会を応援するとともに、
大会参加者及び来訪者の店舗利用を促し、
地域における開催機運を醸成

■開催期間の延長 (3日→46日)

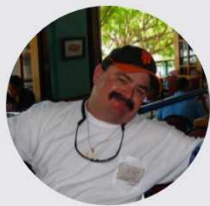


【本件に関するお問い合わせ先】

茨城県政策企画部地域振興課 (茨城インターナショナルフィッシングフェスティバル実行委員会事務局)
担当: 益子、小松崎 (電話029-301-2778、FAX029-301-2789、Mail chikei8@pref.ibaraki.lg.jp)

外国人・著名人選手の参加予定

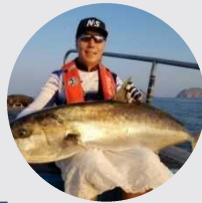
外国人選手は過去最大の10名を予定。韓国のアングラーも初参戦！



Steve Coggin (米国)

カリフォルニア州に拠点を置くルアービルダー。その流通量の少なさから、彼の制作するルアーはカジキ釣り愛好家が憧れる逸品。

NEW!



シン・ドンマン (신동만・韓国)

韓国のプロ・アングラー
エアロK関連グループ企業の韓国テレビ番組（FTV）が大会模様を撮影し、韓国にて放映予定

NEW!



Glenn Uyeda (米国、ハワイ)

5名のチームで自主参加
IGFA（国際ゲームフィッシュ協会）メンバー／USCG（アメリカ合衆国沿岸警備隊）キャプテン

5名で参加



Robert "Fly" Navarro (米国)

3名のチームで参加
フロリダのカジキ釣り大会「Blue Marlin World Cup Championship」大会ディレクター
The Billfish Foundation（カジキ保護財団）役員

3名で参加



佐々木 主浩 (ささきかずひろ)

大魔神の異名で横浜ベイスターズやシアトルマリナーズで投手として活躍。引退後は釣り師、馬主、レーシングチーム総監督として活動。2025年大会から夫婦で大会アンバサダーに就任。



佐々木 加奈子 (ささきかなこ)

ドラマ「家なき子2」に出演。飾らないキャラクターが受け、バラエティー番組でも活躍。佐々木主浩氏との結婚を経て芸能界引退。現在は夫婦で釣りを楽しみ、2025年大会から夫婦で大会アンバサダーに就任。

NEW!



鈴木 斉 (すずきひとし)

茨城県出身、シマノ契約のプロアングラー釣りは楽しく、かっこよくをモットーに、釣り番組などを通じて、釣りの振興・普及に努めている

メキシコとの関係構築強化

「BISBEE'S BLACK & BLUE」大会との関係構築

- 優勝チーム及びBIGマーリン賞の副賞として、出場費用（各100万円）をプレゼント
⇒最大2チームをメキシコ大会に派遣
- メキシコ大会会長のクリセリオ・メルカド氏よりビデオメッセージの提供あり（表彰式で披露）



メキシコ大使館との関係構築

- メキシコ大使に代わって、経済・観光部担当官が表彰式に出席予定
- メキシコ大使館と連携し、ホテルクリスタルパレスで大使館シェフ（ディエゴ・ロペス氏）が監修した料理を味わえる「メキシコフードフェスタ」を実施（7/28~8/31）

サポーター店制度

地元の飲食店等がサポーターとなり大会を応援するとともに、大会参加者及び来訪者の店舗利用を促し、地域における開催機運を醸成

【大会期間中の実施内容】

サポーター店は参加艇チームを応援し、参加艇チームはサポーター店(地元店舗)を積極的に利用し、店舗利用の特典サービスを受けることができる

- 実施期間 2025年8月29日(金)～8月31日(日)
- 対象店 大洗町・ひたちなか市の飲食店をはじめ、宿泊施設やお土産店等
- 参加店数 33店舗
 - 大洗町：21店舗(飲食店 16店舗、土産品販売店 他 5店舗)
 - ひたちなか市：11店舗(飲食店 6店舗、土産品販売店 他 5店舗)
 - ※水戸市：1店舗(土産販売店)

NEW! サポーター店デジタルスタンプラリーの開催

ひたちなか大洗エリア内の店舗利用促進を図るため実施。デジタルスタンプ3個で大洗町・ひたちなか市のおすすめ品をプレゼント

- 開催期間 2025年8月16日(土)～9月30日(火)
46日間
- 参加店数 サポーター店33店舗のうち28店舗が参加



脱炭素の取組

NEW! バイオ燃料（B5軽油）の活用等について

- ・大洗マリーナを運営する(株)ユニマットプレシャスが、(株)ダイキアクシス・サステイナブル・パワーが製造するバイオ燃料を船舶燃料として活用し、今大会に合同チームで参加
- ・併せて、(株)ダイキアクシス・サステイナブル・パワーは、陸上イベントに出店するキッチンカーの使用済み食用油を回収する予定

(参考) (株)ダイキアクシス・サステイナブル・パワーの取組

- ・牛久市や阿見町、稲敷市、河内町、利根町、取手市、土浦市、美浦村、守谷市、龍ヶ崎市の学校や家庭、飲食店、スーパーから廃油を回収し、うしくグリーンファームで製造されたBDF(5%)を軽油に混合したバイオ燃料（B5軽油）として茨城県県南エリアに供給している

(参考) バイオディーゼル燃料（BDF）

- ・学校給食や一般家庭などから出た使用済みの食用油をリサイクルした地球にやさしい燃料
- ・そのまま廃棄すると水質汚染や土壌汚染の要因になってしまう食用油をリサイクルすることで、限りある資源を有効活用でき、水環境の保全につながる
- ・植物由来のバイオ燃料は、カーボンニュートラルの考え方により二酸化炭素（CO2）排出量がゼロとみなされることから、CO2削減など「環境価値」の創出にも貢献